

東京都 AS マスターズルーティン大会 2024

追加要項

1 競技について

- (1) 本大会は本大会要項に則り実施する。
- (2) 競技種目、競技方法は以下とする。(別紙「会場図」参照)
 - ①世界マスターズ選手権ルール適用ルーティン (テクニカルルーティン・フリールーティン)
 - ・「世界マスターズ水泳選手権2024ドーハ大会」のルールを適用する。
ただし、テクニカルルーティンとフリールーティンの両方に出場する必要はない。
それぞれ独立した種目とする。
 - ・プールのA面(水深3.0メートル)を使用する。
 - ・A面中央のWALK-ONラインからWALK-ONを開始する。
退水は本部席の逆のサイドであれば、どちらから退水しても構わない。
 - ・テクニカルルーティンに出場する者は、エレメントカードを提出すること。
エレメントカード、提出方法、提出期限については、HPにて公開の通りとする。
 - ・ジャッジによる採点を行う。
 - ②フリーパフォーマンス
 - ・人数、種目、音楽の制限時間などの規定は設けない。
 - ・演技の開始場所、入水方法、退水場所は自由。
ただし、B面での頭からの飛込は禁止する。
 - ・エントリー時に申請したプールのA面、B面で演技を行う。
A面は水深3.0メートル、B面は水深1.4メートルに設定する。
 - ・ジャッジによる採点を行わない。
- (3) ゴーグルの着用は自由。
- (4) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は、レフリーの許可を得ること。
- (5) 安全上の理由から、小さなスタッドアクセサリーのみ許可される。ぶら下がっているアクセサリーやぶら下がっている水着の飾りは、競技開始前に外さなければならない。
- (6) 伴奏音楽はCDの最初に1曲録音し、ディスクに必要事項を明記の上、音響係員に提出する。
バックアップ用の音源を、必ず持参すること。
- (7) 競技はI部/II部の2部に分けて実施する。
 - I部 : フリーパフォーマンス(ソロ・デュエット・団体)
テクニカルルーティン(チーム)
 - II部 : テクニカルルーティン(ソロ・デュエット・ミックスデュエット)
フリールーティン(フリーコンビネーション・ソロ・チーム・ミックスデュエット)
- (8) 出場順は6月5日(水)までに所属団体(以下 クラブ)へメールにて配信する。
- (9) 競技の棄権届、メンバー変更届は所定の用紙に記入の上、本部席の所定の場所に提出すること。
各競技開始の2時間前までに提出しなければならない。最初の種目で競技開始2時間前に間に合わない場合は、入場後ただちに提出すること。
- (10) 表彰は行わない。競技結果は、大会終了後にクラブへメールにて配信する。

2 監督者会議について

- (1) 1階西側入口（駐車場側）前にて9：55より実施する。
- (2) 出場順が遅いクラブが監督者会議に出席できない場合は、エキシビション後ただちに本部席にて実施する。

3 ADカードについて

- (1) 選手、付添のADカード（「選手票」「付添票」）は各クラブにて（公財）東京都水泳協会ホームページよりダウンロードして、A4サイズにカラーでプリントアウトし4分割する。所属印を押印の上、出場選手および引率者に配布すること。
- (2) 選手ADは選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) 付添ADは1団体1枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。（追加AD：選手1～5名→付添票1枚、6～10名→2枚、11～15名→3枚）
- (4) 付添ADは団体スタッフに限り使用できる。
- (5) ADカードは記名されている選手または引率者専用とし、他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携行すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。折らずに収納できるサイズを使用すること。
- (8) ADカードはクラブの責任において、規定に則り発行すること。

4 入退場について

- (1) 入退館は「1階西側入口」とする。
- (2) 入場開始時間は10：00とする。
- (3) 入場の際は、ADカードをケースに入れて首に下げておくこと。
- (4) 競技終了後の退場時間は自由。

5 更衣室について

- (1) サブプールの更衣室を使用する。
女子更衣室：ジョイフル・アテナ・AS南伊豆・大泉スワロー・KASC・桜シンクロ・トゥリトネス
YWCA
男子更衣室：イトマン・ASフルール・コーラル・東京ASリズム・ゆうぼうと
家族更衣室：男子選手
- (2) 入場時、受付にてクラブごとにロッカー券を人数分配布する。
- (3) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。
- (4) 髪上げ（ハットの着用）を行う場所は、更衣室内の洗面台のみとする。各自でビニールシートを持参し、その上で行う。ゼラチン、ピン、髪の毛を周囲に落とさないよう注意し、回収袋を持参し必ず持ち帰ること。館内のトイレ、洗面台に絶対にゼラチンを流さないこと。
- (5) 退出時には、選手、コーチが更衣室内を清掃してから退出すること。
- (6) ロッカー券は、退場時にクラブごとにまとめて受付に返却すること。

6 控え場所について（別紙「会場図」参照）

- (1) 控え場所は会場図に記載の場所とする。
- (2) プールサイドの「選手控えエリア」は、赤台を設置してあるので譲り合って使用すること。
- (3) 大きな荷物はロッカーにしまい、プールサイドへの持ち込みは必要最低限のものにすること。プールサイド壁の棚を利用し、赤台はできるだけ多くの人が着席できるように配慮する。
- (4) 水分補給は、ペットボトル、水筒など専用のものを使用し、他者と共有しない。

- (5) 食事は「選手控室」にて取ること。「選手控室」には水気を良く拭きとってから入ること。
- (6) 1階および2階エントランスでも飲食は可能。ただし、メインプール（競泳大会）とダイビングプール（一般公開）の利用者と譲り合って使用すること。エントランスに出る際は、必ず衣類を着用のこと。
- (7) ゴミは必ず持ち帰ること。
- (8) 「選手控室」の電源の使用は禁止する。

7 練習について

- (1) 「練習時間」「会場図」に記載のとおり実施する。状況によって変更する場合があるので、係員の指示に従うこと。
- (2) A面の水深は、3.0メートルに固定する。B面はI部終了後に3.0メートルに水深を変換する。水深変換中は練習することはできない。
- (3) 練習中のアクロバティック動作については、接触に十分注意すること。

8 招集、動線について（別紙「会場図」参照）

- (1) A面/B面それぞれに招集所を設ける。
- (2) 自分の出場順の2番前の選手がスタートしたら、演技を行う面の招集所に集まること。
- (3) 招集所に集合する際はADカードを着用し、係員のチェックを受けた後は外してコーチに預ける。
- (4) コーチは2名まで招集所に帯同可とする。
- (5) 演技中、コーチ2名まではコーチ席に待機すること。
- (6) 出場時のみ、該当クラブは「会場図」に記載の所定の場所で応援と撮影を可能とする。

9 観客について

- (1) I部、II部の入れ替え制とする。
- (2) 観客の人数制限、ADカード、諸注意については、別途、クラブへメールにて配信する。

10 本大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 大会中に発生した事故、傷病は、クラブの責任において対応すること。
- (2) 社会情勢や自然災害などの不可抗力により大会が中止になった場合は、申込金は返金しない。
- (3) 競技会参加にあたっては、要項・追加要項に記載される注意事項を順守すること。

11 その他

- (1) 熱中症に注意し、こまめな水分補給を心掛けること。
- (2) 貴重品は各自の責任において管理すること。
- (3) 事故、怪我などのないよう、クラブにおいて十分練習を積み注意すること。
- (4) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、クラブの責任において弁償すること。

12 問い合わせ先

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147（平日 10：00～17：00）
大会当日の連絡先 090-1613-3002 小川みゆき

以上